

ワラジムシ目

陸生の甲殻類の中には、ダンゴムシやワラジムシなどの種がいて、庭や道端の石の下などでよく見つかる身近な生物でもある。



オカダンゴムシ

オカダンゴムシ科 オカダンゴムシ

庭や路傍の落ち葉の中に生息する。触ると丸くなる。ごく普通の種で個体数も多い。歩脚は7対14本で、外骨格は硬く、艶がある。



ワラジムシ

ワラジムシ科 ワラジムシ

ダンゴムシと同じように庭などの落ち葉の中に住む。触れても丸くならない。歩脚は7対14本でダンゴムシに良く似る。



ニホンヒメフナムシ

フナムシ科 ニホンヒメフナムシ

山林の落ち葉のある湿った地上で見られる。この種もダンゴムシと同じ仲間です。7対の脚をもつ。

多足類

節足動物門でヤスデの仲間、ムカデの仲間など多数の歩脚がある分類群である。石や倒木の下、落ち葉の中など地表面に接した湿った場所で見つかることが多い。土壌動物と総称されている。ムカデの仲間は肉食で咬むが、ヤスデの仲間はこのんびりで意外と魅力的に見える。

調査での出現種			
群No	分類群	科名	種名
1	多足類	オオムカデ科	アオズムカデ
2		アカムカデ科	アカムカデ
3		シロハラヤスデ科	マクラギヤスデ
4		ババヤスデ科	ババヤスデ科 sp
5			キシヤスデ
6		ヤケヤスデ科	ヤケヤスデ

シロハラヤスデ科 マクラギヤスデ

庭や山林内の道端にある倒木、大きな石の下や落ち葉の下に見られる。3 cm くらいの大きさで、1 体節に 2 対の脚があり、背中はやや平たく、体節間に隙間がある。腐った葉などを食べる。



マクラギヤスデ

ヤケヤスデ科 ヤケヤスデ

庭や畑などの落ち葉や石や板切れの下にいる。腐った落ち葉などを食べる。ムカデによく似るが刺すことはない。各体節に 2 対の脚があるが、歩行の際の足の運びは一見の価値がある。



ヤケヤスデ

アカムカデ科 アカムカデ

冬の 2 月、倒木の下に隠れていた 3 cm くらいの小さい個体で、すぐに暗いところに隠れてしまった。肉食で眼は無い。このくらい小さいものだと、のんびり眺められる。夏、ウメの木の木陰で涼んでいたときに、帽子の上からなにかゴソゴソと動く気配がして、首筋に触れたので、払ったら、10cm もあるアオズムカデだった。咬まれると酷く痛いようだが、幸い何事も無く、退散して行った。大きいムカデはやっぱり苦手。



アカムカデ